



年 組 名前

# 道新ワークシート

書籍や文具などを販売する大型複合店「コーチャンフォー」を展開するリライアブル（釧路）の業績が好調だ。2025年度の売上高は前年度比8%増の約158億円を見込み、27年初夏には札幌市内に新店舗を開業する。出版科学研究所（東京）によると、書籍や雑誌など紙の出版物の売上高は1996年をピークに減少し、2025年は半世紀ぶりに1兆円を下回るなど「出版不況」は深刻化している。そんな中で、なぜ収益を増やせるのか佐藤暁哉社長（48）に聞いた。

## 「4頭立て」強み

「業績が上向いていま

「そもそもコーチャンフォーは『4頭立ての馬車』という意味です。書籍、文具、音楽、飲食のそれぞれで地域の一番店になるのが経営方針です。売り上げの50%前後を稼ぎ、店舗面積の約半分を占める書籍以外にも売り上げを立てられるのが強み。本年度はシール



## Q. 出版不況下 「コーチャンフォー」 はなぜ好調

## A. 広い書籍売り場 品ぞろえで優位

ブームがあり、文具が高めに推移しました」  
「書籍も伸びているのですか。」

「本年度の売上高は、全体で前年度比8%増を見込んでいます。書籍に関しては前年度と同水準なので、結果的に他の事業がけん引した形です。ただ、今年1月末には大雪で北海道内に書籍が2週間入らないことがありました。そのマイナス分を含めて前年度並みを維持できたので、書籍も順調と言えるのではないのでしょうか。関東地方の店舗の売り上げが伸びたことも下支えしました」

「出版不況と言われる中で、好調を維持する秘訣は何ですか。」  
「店舗面積の目安は2千坪（6600平方メートル）です。広い売り場面積を確保することで優位性を保っています。店舗に欲しい本がないと、ネット書店や電子書籍に流れてしまいます。そうならないよう、書籍売り場の広さを維持しており、これからは減らす考えはありません。本を好きな人に

来てもらいたい。その上で新規事業を進め、来店動機を高めています」

### ちよつといい品

「書籍や文具のほか、菓子や酒類、冷凍・レトルト食品などを豊富にそろえています。」

「10年以上前、釧路店でバレンタイン時期にチョコレートの販売を始めました。釧路にはデパートがなく、ちよつといい商品を買える場所を目指しました。本格的に食品事業を始めたのは8年前。（売り上げが減る）CDに代わる商品が必要でした。北海道にはない（高級スーパーの）『成城石井』の商品を取り扱っています。まとまった広さの常設スペースを確保し、品ぞろえを充実させることで来店を増やすことにつながりました」

「関東の店舗には北海道の商品を置いていない。」  
「北海道発を強みにできないかと始めました。やきそば弁当やサッポロ

クラシックなどのご当地商品をそろえ、非常に順調です。食品事業の売り上げは、全体で年間10億円超と、CDの売り上げ減少分を埋めています」  
「27年初夏に菊水元町店（札幌市白石区）の開業を予定しています。」

「ここ数年、多くの地域から出店してほしいという声寄せられています。白石や厚別区からの要望が多く、（店舗や駐車場の面積を確保できると）いい場所があればと思っています。関東でも現在店舗がある東京と茨城以外に出店したいと思っています。一方で建築コストが上がり、慎重に進めなければなりません」

「在庫意識として『読まないよりは読んだ方が豊か』だと感じている人が多いと思います。ただ、ニュースはネットの方が早く、スマホで完結する時代になっていきます。しかし、そうでないものを、しっかり売っていきたい。『欲しい本があるから』『なんとなく面白いものがないか』。こうした書店に行くきっかけを、これからは残していきたいですね」

### 「文庫全点」反響

「東京・若葉台店が1月下旬、X（旧ツイッター）で『岩波文庫の出版と発信したところ、これまで875万回以上閲覧されるなど「バズって」います。』  
「岩波文庫は現在700アイテムほどで、元々在庫で9割くらいは持っていました。店から全部そろえると報告を受け、せっかくなら告知しましょうとなりました。道内でコーチャンフォーは知られていますが、関東ではまだまだです。売り場をアピールする狙いもありました。ここまでは反響が大きいのと思わなかったですね。1日数冊程度だった岩波文庫の販売数が、その後は毎日何十冊と売れています」  
「『出版不況』と言われる現状をどう見ているか。」  
「潜在意識として『読まないよりは読んだ方が豊か』だと感じている人が多いと思います。ただ、ニュースはネットの方が早く、スマホで完結する時代になっていきます。しかし、そうでないものを、しっかり売っていきたい。『欲しい本があるから』『なんとなく面白いものがないか』。こうした書店に行くきっかけを、これからは残していきたいですね」

（山口真理絵）



年 組 名前

---

# 道新ワークシート

- (1) 次の文は、記事の冒頭をまとめたものです。文中の(ア)、(イ)に当てはまる言葉を、後の選択肢からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

◎近年、紙の出版物の売り上げはピーク時である1996年の半分以下に減少し、「(ア)」が深刻化している。しかし、大型複合店「コーチャンフォー」を展開するリニアブルの2025年度の売上高は前年度比8%増と、「(イ)」な業績を見込んでいる。

アの選択肢： A. 活字離れ B. 出版不況 C. 書店不足

イの選択肢： D. きびしい E. 横ばい F. 好調

- (2) 次の表にある①・②・③に最も当てはまる言葉を記事の中から選び、抜きだして答えなさい。

コーチャンフォーの特徴	具体的な内容
「(①)」の馬車	書籍、音楽、飲食、(②)のそれぞれで地域の一番店になるのが経営方針
食品事業への展開	売り上げが減ってきている(③)の分を補っている

- (3) コーチャンフォーが「2千坪」という広い書籍売り場面積を維持しているのはなぜですか。「ネット書店や電子書籍」という言葉を使って、30字以上、45字以内で書きなさい。(句読点も1文字とする。)